

がんばろう本宮！

～相模女子大生らが農産物フェアを開催～

被災地の野菜を食べて現地の人を応援したいとして、6月19日小田急相模大野駅で「がんばろう日本！福島県本宮市応援フェア」が行われました。

このフェアは、地域活性化事業連携を進めてきた相模女子大学と(財)農村開発企画委員会が企画、本市を含めた「水と緑広域交流連携協議会」が主催し、福島県・本宮市の農産物や加工品を販売しました。当日は、相模女子大学の学生10名を初め、大学関係者や(財)農村開発企画委員会職員の協力のもと、高松市長も訪れ積極的に販売を行うとともに、本市での3年間にわたる事業体験の活動などのパネル展示をすることで、大学と本宮市の連携もPRしました。



カメラ散歩

まちの
ホットな話題

秘書広報課広報広聴係
☎33-1111 (内線 224)

カメラ散歩では、皆さんの「ホットで楽しい」話題を掲載しています。皆さんからの情報もお待ちしています。



ともに支えあおう

～第61回社会を明るくする運動～



7月1日朝、保護司会と更生保護女性会の皆さんがJR本宮駅前で、駅利用の皆さんにチラシや標語入りのティッシュを配り、啓蒙活動を行いました。

この運動は「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」をテーマに毎年7月を強調月間として、全国的に展開されています。

運動に参加された皆さんや駅利用の皆さんは、明るく元気にあいさつを交わしていました。



いってまいります

～移川さんザンビアに～

6月15日、青年海外協力隊として派遣される、移川美季さん（白岩字松ケ作）が市長を表敬訪問しました。

移川さんは、6月20日からザンビアで2年間活動します。ザンビアでは、地域のクリニックで、エイズ対策を中心に活動を行います。

移川さんは、「日本が震災で大変な時に海外へ出ることを悩んだが、周りの方からの支援を受け、看護師としての経験と知識を活かし、小さい頃からの夢だった青年海外協力隊員として、困っている人の力になりたい」と力強く抱負を語ってくれました。



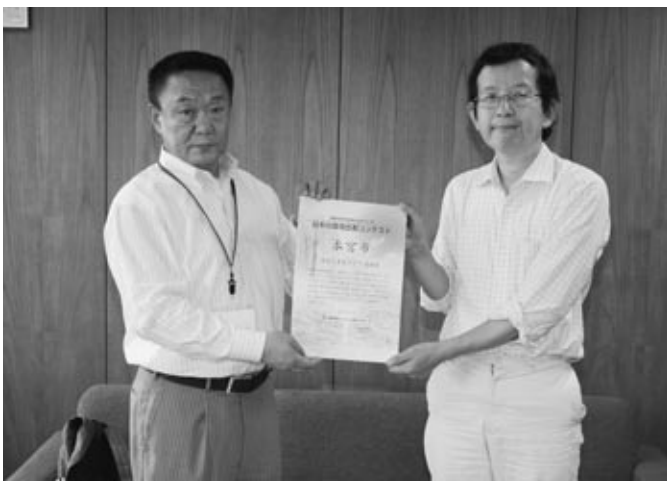
ふくしまを元気に

～ JR 仙台駅で販売会を実施～

福島県産品などに対する風評被害を一掃するため、6月3日から5日の3日間、JR 仙台駅で「LOVE ふくしま」福島県産品販売会が開催されました。

この販売会は、東京電力福島第一原子力発電所事故の風評被害の一掃と経済の回復を図ろうと福島県市長会が主催し、会場の JR 仙台駅グランドコンコースには福島県内の13の市で生産された農作物や酒、菓子などが並べられ、各市の職員らが販売しました。

本宮市からは農産物や加工品を出品し、販売ブースでは高松市長が積極的にPRを行いました。



△環境首都コンテスト全国ネットワーク
山田岳之さん（右）と高松市長

受賞しました

～第10回環境首都コンテストで

「環境のまちづくり飛躍賞」～

本宮市が第10回環境首都コンテスト（「環境首都コンテスト全国ネットワーク」主催）で「環境のまちづくり飛躍賞」を受賞し、7月7日に市役所で表彰式が行われました。このコンテストは、環境先進国ドイツの「環境首都コンテスト」をモデルに、2001年から環境分野における市町村の取り組みを競い合わせ、総合的に評価することで、環境行政に対する関心を高める

ことを目的として実施しているものです。本宮市は2007年の第7回から毎年参加し、初年度（第7回）の得点を基準として、最終回である第10回の得点との差（上昇率）が大きかった自治体として表彰されました。